

自社のデータセンターや、サービス プロバイダーのデータセンター、Windows Azure の一元管理を行う Microsoft System Center 2012 R2 を使用することで、マイクロソフト クラウド OS のメリットを実感できます。

自動化とセルフサービス機能は、アプリケーションの所有者および IT チームに以下の実現に必須のアジリティと制御を提供することでクラウド OS をサポートします。

- セルフサービス アクセスを利用したアプリケーション サービスのプロビジョニング
- オンプレミス、サービス プロバイダー、Windows Azure インフラストラクチャ間で一元化されたビュー
- 追加のキャパシティ プロビジョニングを実行する自動化ワークフローの展開

クラウド コンピューティングの進化に伴い、データセンターの管理者は、効率的な運用を実現するために新しい需要と既存の資産のバランスをうまく調整する必要があります。情報技術 (IT) サービスの利用者、すなわちアプリケーションの所有者は、ビジネスにおけるステークホルダーからのスピードとアジリティに対する要求に対応しなければなりません。Microsoft System Center 2012 R2 を使用することで、アプリケーションの所有者は、セルフサービス アクセスにより開発したアプリケーションをプロビジョニングでき、IT は自動化と制御を推し進める手段を得ることができます。

## アプリケーションの アジリティと IT の制御

パブリック クラウド コンピューティングが普及した結果、エンタープライズ アプリケーションの所有者は、より速くより機敏な IT を求めるようになりました。要求が満たされなければ、自分で何とかしようとするケースも少なくありません。IT チームにとって、このような要求やケースは、アプリケーションやビジネスに関するカウンターパートとの間にアドバイザー的な信頼関係を築く上で、大きな障害になります。System Center 2012 R2 を使用すると、オンプレミス、サービス プロバイダー、および Windows Azure リソースおよびアプリケーションを一元的に管理できるため、IT は堅牢な管理を実現しながら、アプリケーションの所有者に対しては、セルフサービス方式のアプリケーション管理により彼らが求めるアジリティを提供できます。

## 簡素化されたアプリケーション プロビジョニング

クラウド サービスの需要が高まるにつれて、エンタープライズ アプリケーションの所有者は IT の扱いにシンプルさと速さを求めるようになりました。System Center 2012 R2 を使用すると、アプリケーションの所有者はセルフサービス アクセスでアプリケーション サービスをプロビジョニングできます。System Center Virtual Machine Manager (VMM) から利用するサービス テンプレートを 사용하면、ハードウェアやオペレーティング システム、アプリケーション パッケージなどの仕様をひな形として用意できるため、アプリケーションの要件定義が容易になり、サービス プロビジョニングにかかる時間も短縮され、エラーも発生しにくくなります。アプリケーションの所有者は、マイクロソフト製のワークロード (SharePoint ファームなど) のほかに、合意済みのサービス テンプレートを使って LOB アプリケーションも展開できます。マルチテナント環境の場合は、Windows Azure の一貫したユーザー エクスペリエンスのおかげで、テナントのエンド ユーザーはインフラストラクチャ管理者によってテナントごとに設定された定義済みパラメーターを使ってマルチ仮想マシン サービスをプロビジョニングできます。

# Windows Server と Windows Azure の一括管理とそのメリット

今日の IT チームは、アプリケーションをホストするデータセンター インフラストラクチャの管理を、ホストされている環境に関係なく、1 つのツールセットで済ませたいと考えています。System Center App Controller は、オンプレミス、サービス プロバイダー、Windows Azure インフラストラクチャに対して一元的なビューを提供し、キャパシティ問題の対応に IT が必要とする可視性と制御を実現します。IT は、オンプレミスの仮想ハード ディスク (VHD) イメージを Windows Azure にアップロードすることで、データセンターのキャパシティを容易に拡張できるため、アプリケーションの所有者は LOB アプリやマイクロソフトのワークロード (SharePoint) に利用することができます。アプリケーションの所有者は、SQL Server や SharePoint Server のようなコア アプリケーションをオンプレミス環境から Windows Azure にわずか数クリックで移行できます。また、System Center App Controller を使えば、Windows Server と Windows Azure 間の仮想マシンやワークロードの移動で、フォーマットの変換が不要となるため、作業が容易になります。

## 自動化と統合によるアプリケーション層のスケーリング

データセンターにおけるキャパシティ上のボトルネックは、アプリケーションのサービス レベル アグリーメント (SLA) の抵触の原因になることが少なくありません。System Center 2012 R2 では、アプリケーションの所有者はカウンターパートであるインフラストラクチャ管理者と協力して、追加のキャパシティ プロビジョニングを実行する自動化ワークフローを展開できます。この機能は、マイクロソフトが提供、サポートする Orchestrator や Windows PowerShell などのリッチなオートメーション ツールセットで利用できます。たとえば、Windows Azure では、Windows Azure Integration Pack を使って、自動化されたワークフローを Orchestrator から実行することで、追加のキャパシティ プロビジョニングを実行できます。実行しきい値は、Operations Manager から定義できるため、ワークフローを実行するアラートを出力して、キャパシティ プロビジョニングをオンデマンドで実行できます。また、Orchestrator を拡張することで、自社のビジネス専用のデータセンター ワークフローやプロセスを実装するインテグレーション パックを独自に開発することもできます。

クラウド	名前	OS	説明	仮想CPU	メモリ	記憶域	VM数
クラウド (10)	Customer Service	SCVMM 2012	ContosoDC-LAS	6/38	16/100 GB	2037/12176 GB	2/12
	Finance	SCVMM 2012	ContosoDC-LAS	4/8	66/71 GB	2532/3633 GB	6/16
	Human Resources	SCVMM 2012	ContosoDC-LAS	22/38	62/104 GB	7434/12434 GB	8/14
	Marketing	SCVMM 2012	ContosoDC-LAS	40/58	137/198 GB	18299/21962 GB	15/22
	Sales	SCVMM 2012	ContosoDC-LAS	21/30	46/64 GB	6082/9686 GB	7/10
Fabric/Hosting	Gold	SCVMM 2012	Fabric/Hosting	40/58	137/198 GB	18299/21962 GB	15/22
	Silver	SCVMM 2012	Fabric/Hosting	5/52	16/172 GB	2233/19370 GB	2/20
Windows Azure	Marketing	Windows Azure	Windows Azure				
	Sales	Windows Azure	Windows Azure				
		Windows Azure	Windows Azure				

System Center 2012 R2 App Controller は、拡張したデータセンターに対して一元的なビューを提供し、キャパシティの問題を管理するための可視性と制御を実現します。

## 次のステップ

- System Center 2012 R2 に関するその他のリソース:  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/products/system-center-2012-r2/>
- System Center 2012 R2 (TechNet)  
<http://www.microsoft.com/technet>
- System Center 2012 R2 のダウンロードおよび評価:  
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/dn205292?WT.mc\\_id=Social\\_R2\\_R2\\_General](http://technet.microsoft.com/ja-jp/evalcenter/dn205292?WT.mc_id=Social_R2_R2_General)
- System Center Marketplace (英語):  
<http://systemcenter.pinpoint.microsoft.com>
- ブログ (英語):  
<http://blogs.technet.com/server-cloud>